

「屋外での外国語活動」

光徳保育所

光徳保育所では、英語に親しむ機会として、毎月「えいごのじかん」を設けています。子どもたちは外国語指導者のキエン先生と、簡単なゲームや歌遊びをとおして英語に親しんでいます。

今年度は、屋外での外国語活動にも力を入れていきたいと思い、さっそく、外に出ました。

まずは、園庭でサッカーを楽しみました。キエン先生が、子どもたちに加わり「ナイスキック」「ナイスアシスト」と英語で声をかけてくれます。たまたま友だちのキックしたボールが頭にあたり、気落ちしそうになっている子どもがいました。「オー、ナイスヘディング」と先生がすかさず英語で声をかけるとその子は気持ちが切り替わり、笑顔で再び走りだすことができました。

次は、みんなでおたまじゃくし捕りに、近くの田んぼに出かけました。道を横断する時にも「ストップ」「ライト」「レフト」「ライト」と指差しをし、「ハンドアップ」と手を上げて渡りました。子どもたちが、「田んぼは、英語で何て言うの」と聞くと「ライスフィールド」と教えてもらい、声に出して言ってみました。



▲おたまじゃくしをゲット！

その他にも子どもたちは、自然の中で目に映るものを英語で教えてもらいました。帰り道では「えいごのじかん」でいつも歌っている歌を大きな声で歌いながら、みんなで楽しく園へ帰りました。

幼少期の子どもには、柔軟で何でも知ろうとする好奇心が備わっています。外国語活動を通じて、子どもたちが外国の文化に興味を持つてほしいと願っています。

自然を守り育てる

一人一木活動

中山中学校は、地域の一人として自然を守り育てようと、全校生徒が卒業までの3年間、校舎周辺の学校の幼木を自分の担当を決めて幹の太さを測り、除草し成長を見守る一人一木活動を行っています。

6月8日（金）、3年生はグラウンド斜面、2年生は武道館横、1年生は特別教室棟裏にある各自が管理している木の成長を記録し、下草刈りを行いました。また、台風や雪で枝が折れていましたが、全員の力を合わせて撤去作業も行い、学校林がきれいになりました。



▲作業の様子（中山中学校）

▶ ナイスキック！